



女性のための歯周病講座



男性より女性の方が歯周病になりやすい!?

男性より女性の方が歯周病になりやすい主な要因は、女性ホルモンに関係があります。お口の中には女性ホルモンを大好きな細菌がいて、**女性ホルモンの分泌量が増えるとその細菌も増殖**します。そのため女性の方が歯周病になりやすいといわれています。それ以外に年代別の様々なホルモンの変化からも歯周病の要因となります。

また女性は唾液が少ない人が多く、口の中が酸性に傾くのを防ぐ働きが男性よりも弱いため、口の中の環境が悪化しやすいといわれています。

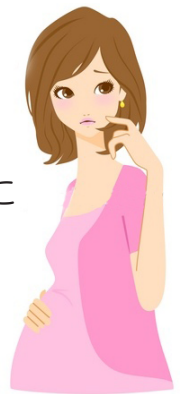
女性ホルモンと歯周病の関係

歯周病の原因菌のなかには、女性ホルモンを特に好んで繁殖する種類があります。女性ホルモンは、歯茎と歯の間から少しずつ染み出しています。月経の前がいちばんホルモンの変動を受けやすく、歯肉がむずむずしたり、腫れたりとの経験を持つ人も多いでしょう。これは**女性ホルモンの増加に伴って、毛細血管が影響**されることと、炎症反応が過度になるからです。

歯周病は早産に影響する

妊娠中に歯周病になると、早産で低体重児が生まれるリスクは7倍にあがるというデータがあります。**妊娠性歯肉炎や妊娠性エプーリス**など歯茎が敏感で腫れやすくなります。また産後も育児に手がかり、自分の歯磨きをおろそかにしがちで、**出産を期に歯周病**になってしまうケースが多いので要注意です。

虫歯や歯周病の治療は妊娠する前にすませておき、歯と歯肉・舌の上などを清潔に保ちましょう。



更年期の歯周病

更年期を迎えると、女性ホルモンが減ることから骨密度が低くなり、**骨粗しょう症**になりやすくなるのはよく知られていますが、歯を支えている**顎の骨も弱**くなります。歯茎がやせてしまうことや、口が渇きやすくなったりすることも歯周病のもととなります。

